

2022 年度 事業報告

特定非営利活動法人つなげる

1. 活動の成果

2022年度は、2021年度から継続した助成事業によるオンラインコミュニティ運営事業ならびに就労支援事業の実施、2022年度から採択された助成事業による多胎シングルマザーを対象とした生活支援物資付き相談支援事業、家事支援業者を対象とした多胎家庭の特徴を伝えるための講座開発を新規事業として開始。また、2022年12月より「ふたごハウス」を兵庫県尼崎市に開設し、2023年2月から正式オープンさせました。日本では例のない、多胎家庭だけが集まるリアルな拠点で、生活空間の中でのさまざまな支援を通して、多胎家庭に必要な支援を実証実験しながら、行政/民間サービスの拡充に向けた提言を実施していく予定です。

多胎家庭専用のオンラインコミュニティは、のべ10,000名を越える規模となり、利用者の使いやすさおよび運営側の管理コスト削減を目的に公式LINEのシステムリニューアルも実施しました。就労支援事業においては、約1年間実施した多胎ママを対象とした就労支援の各サービスの利用者ならびに任意の企業担当者へのインタビューを通じた報告書も作成し、多胎妊娠/育児をしたとしても働きやすい環境を整えるためにはどのような使い方が必要なのかをまとめました。

2022年度から特に注力していることは、『多胎』というキーワードにとどまらず、『子育て支援』『女性支援』などをテーマにした団体/活動との連携を深めることです。具体的には、自治体の母子保健課・子育て支援課の担当者を対象とした情報共有会の実施や、家事支援事業者向けの多胎育児の現状を伝えるためのイベント開発をすすめております。助成事業によって実現できた多胎シングルマザー向けの生活支援物資付き個別相談事業では、物資支援からオンライン相談へ、オンライン相談から地域資源連携へとつなげるために、どのような運営体制が必要かを整えています。

2. 各事業の報告

事業名（と主な活動）	活用した助成プログラム	対象者数・実施場所
① オンラインコミュニティ運営事業 ・ ふたごのへや ・ ふたごのひろば ・ ふたごのまち ・ ふたごのいえ ・ おしゃべりのへや ・ 多胎ブレバママ教室	R4年度大阪府-NPO等活動支援による社会課題解決事業 2022年度日本財団助成事業 NPOのデジタル基盤強化助成プログラム事業	ふたごのへや： 2,700名超参加 ふたごのひろば： 2,000名超登録 ふたごのまち： 8,200名超登録
② オンライン相談事業 ・ つなげる相談室 ・ 弁護士相談 ・ オンライン福祉コーディネート	タケダ・女性のライフサポート助成プログラム事業	つなげる相談室： 65回実施 弁護士相談： 22回実施
③ ピアサポーター養成事業 ・ つなげるピアサポーター養成講座 ・ ピアサポ勉強会 ・ つなげるWeeklyNews		ピアサポーター養成講座： 8名参加 つなげるピアサポーター： 59名登録
④ 多胎支援啓発活動事業 ・ ふたごつなげるカーニバル2022 ・ オレンジリボンフェスタ in あまがさき ・ H2Oサントチャリティートークイベント	小規模事業持続化補助金、大吉財団助成事業 あまらブチャレンジ、尼崎市市民提案事業 2023年度キリン財団 2023年度日本財団	カーニバル2022： 東京都大田区 H2Oサントイベント： 阪急百貨店梅田本店
⑤ 就労支援事業 ・ 就労支援事業	休眠預金を活用した新型コロナウイルス対応支援助成事業	就労支援事業： のべ137名参加
⑥ ふたごハウス運営事業 ・ ふたごハウス運営 ・ 色塗りイベント	あまがさき住環境支援事業 尼崎市創業支援事業 令和5年度WAM助成事業	ふたごハウス： のべ89名利用

対象者はいずれも、多胎妊娠/育児をされているママ/パパ

3. 事業実施体制

① 通常総会

開催日：2022年11月25日 22時から23時
開催場所：オンライン会議
正会員数：総数10名
出席者数：10名
審議事項：第1号議案 2021年度（第5期）事業報告
第2号議案 2021年度（第5期）財務報告
第3号議案 2022年度（第6期）事業予算計画案
第4号議案 理事の改選

② 会員

正会員：10名
賛助会員：1名
つなげる会員：59名